

茨城県連合支部

「講演会と昼食会」を開催

2025年1月25日(土)に、茨城南支部の今井昭生氏(60P)による「医薬品開発事例及び最近の医薬品開発事情の紹介ーアルツハイマー型認知症治療薬・アリセプト原薬(ドネペジル塩酸塩)の事例ー」と題した講演会を「プレジデントホテル水戸」で行った(参加:講師+18名)。今井氏は㈱エーザイでアリセプト原薬の工業的製造法を開発・確立された。講演では、アリセプト原薬の製造法や作用に加え、生活改善が認知症予防に有効なこと、医薬品の品質に対する考え方、ジェネリック医薬品を含めた昨今の医薬開発事情などが紹介された。さらにこれからのAIと共存した仕事の進め方においては、知恵(意思決定)や問題を解決するソリューションが大事だという考えも紹介された。

皆さん認知症に対する関心が高く、また質問も多く、有意義な講演会であった。

昼食会では参加者の豊富な経験を含めた近況報告を行い、健康や趣味、社会貢献などに関する話題で親睦を深めた。

(連合支部長 中村啓夫)



後列左から:菊地(修 54L) 岸(58M) 古屋(49P) 相原(40E) 関(46C) 福島(修 50C)

吉田(修 46M) 鈴木(51M) 反町(修 47C) 藤井(46S) 栗原(修 46M) 江黒(43E)

前列左から:設楽(47M) 小暮(37C) 伊藤(37E) 今井(60P) 中村(修 48M) 新井(34E) 山田(40S)

以上